

やらんば！平戸

ひと(HITO) 響きあう 宝島 平戸

広報 ひらど

Hirado City Public Relations

10万個の光が冬の公園を彩る
「田平公園「光のフェスタ」」午後6時から午後9時まで点灯

Hirado City Public Relations
2011.12.75
広報ひらど 平成23年12月号

Contents

私たちは、滞納を許さない	▶ 02	市長体験記・カピタン日記	▶ 19
受賞・入賞おめでとうございます	▶ 06	市長のトップ対談シリーズ07	▶ 20
未来の平戸へバトンタッチ	▶ 09	市民の声&読者プレゼントコーナー	▶ 22
平戸藩の秋めぐり	▶ 10	まちのひとびと	▶ 24
まちのできごと・平戸オランダ商館風説書	▶ 12	田平港シーサイドエリア活性化施設完成	▶ 26
健康・福祉いきいき通信	▶ 16	平戸市からのお知らせ	▶ 27
学びの達人	▶ 17	情報ひろば	▶ 30
みんなの図書館	▶ 18	人口の動き・編集室からひとこと	▶ 32

2011
December
12
平成23年

No.075

Hirado city Public Relations
2011.12.75
広報ひらど 平成23年12月号

古紙配合の再生紙を使用しています。
大豆油墨を使用しています。

編集・発行 平戸市市長公室 〒859-5192 長崎県平戸市岩の上町1508番地3
TEL/0950-22-4111(代) FAX/0950-22-2419
URL http://www.city.hirado.nagasaki.jp E-mail kouhou@city.hirado.lg.jp
印刷/有明社テクノグラフィック

いきつきロード2012大会

START

潮風薫る生月の海岸線を駆け抜けよう！

2012.2.12(日)

午前10時から順次スタート

申込締切日 2012年1月12日(木)必着

IKITSUKI ROAD 2012

参加者
募集!!

申込方法

生涯学習課、教育委員会各分室、各公民館に備え付けの所定の申込用紙(払込取扱票)に必要事項を記入の上、参加料を郵便振込にて入金してください。

お問い合わせ・申込み

いきつきロード実行委員会事務局
(教育委員会生月分室内) ☎53 - 0541

◎今月の表紙

11月13日から田平公園で開催されている、「光のフェスタ」からの一コマ。辺りが暗くなった午後6時には、イルミネーションの点灯式が行われ、約150発の花火の打ち上げと同時に10万個の電球に光が灯りました。イルミネーションは、来年1月9日(月)までの間、午後6時から午後9時まで点灯しています。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

平戸市役所も参加しています。



◎人口の動き

■平戸市人口/35,756人(-6)

男性/16,752人(-2)

女性/19,004人(-4)

■世帯数 14,398戸(±0)

※()は、前月との比較

平成23年11月1日現在

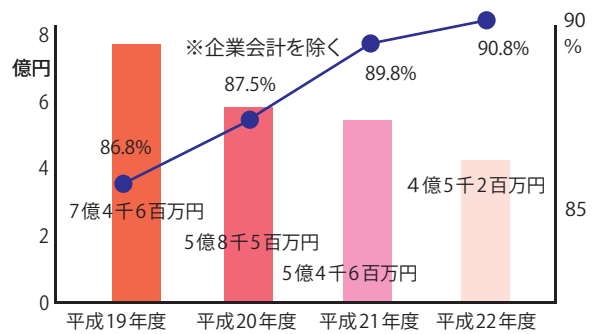
Editorial

編集室からひとこと

急に寒くなり、みなさん体調を崩していませんか？今年も残すところあとわずか。1年は、あっと言う間ですね。この1年を振り返ってみて、私はまず元旦に決意した思いが、未だに達成できていないことに焦りを感じています。1カ月しかないと思うのか、あと1カ月あると考えるのか。新年までの残り1カ月。「忙」しさに負けて、心を亡くさないように努めていきたいと思っています。 (小)

「サンタクロースは本当にいるの？」子どものころから持ち続けた素朴な疑問。私は「いる」と信じてます。というのも、高校時代に英語の補習授業で使ったテキストにユーレニッセ(ノルウェーのサンタクロース)の住所が載っていて、クリスマスカードを送ったところ、エアメールでお返事が届いたからです。豚に乗ったサンタの消印に驚きましたが、夢があつていいなあと思いました。 (白)

●累積未収額と収納率の推移(グラフ1)



※未収額：市が徴収すべき債権で、徴収できていない金額

●累積未収額の内訳の推移(表1)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
市税	3億1千5百万円	2億3千4百万円	2億1千6百万円	1億9千2百万円
保険税	3億4千3百万円	2億7千9百万円	2億6千6百万円	2億5百万円
保育料	1千5百万円	1千1百万円	9百万円	7百万円
住宅使用料	1千1百万円	1千万円	1千1百万円	1千万円
介護保険料	3千5百万円	2千6百万円	2千万円	1千3百万円
学校給食費	8百万円	6百万円	6百万円	6百万円
他債権	1千9百万円	1千9百万円	1千8百万円	1千9百万円
合計額	7億4千6百万円	5億8千5百万円	5億4千6百万円	4億5千2百万円

※企業会計を除く

累積未収額と収納率

滞納現状

税金は、安定した行政運営に欠かせない財源であり、特に自主財源が乏しい本市にあっても、市税収入は市の貴重な財源になっています。適正、公正な課税のもと、市民のみなさんにとって公平な税負担と充実した行政サービスの提供のため、税務課は、滞納対策に積極的に取り組んでいます。

8%に向上しています。(グラフ1・表1参照)。
未収額が解消している要因は、差押や家宅搜索、公売会などの滞納対策の効果だと思われます(表2参照)。

●市税滞納処分件数(表2)

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
差押件数	債権	201件	637件	796件	1,256件
	動産	0件	37件	101件	121件
	不動産	10件	28件	9件	11件
	自動車等	1件	44件	38件	26件
家宅搜索		0件	19件	70件	95件
支払督促申立		—	2件	1件	35件
住宅明渡訴訟		—	1件	3件	1件

滞納は市民生活全体の損失

本来、市民サービスに活かされるはずの4億5千2百万円(平成22年度決算)が、未収金として残っています。この未収金は、市の一般財源の中で、学校建設や道路建設に充てられる金額と同等の額に相当します。滞納するということは、生活に必要不可欠な市民サービスの損失に直接関わっているといえます。

▲財源が確保できなければ、平戸の未来を担う子どもたちに安心して学べる校舍、通える通学路を整備できないことも考えられます

現在、取り組んでいる滞納対策

現在、市では、全庁的な未収金の滞納対策のために関係各課と連携を図り「市債権管理対策会議」を機能させ、市全体の債権管理の方針や収納率向上の対策に取り組んでいます。具体的な取り組みとして、税金や公課(介護・後期高齢者医療保険料・保育料)は、督促状を送付しても納付や連絡がない場合に、法律に基づいた財産調査、滞納処分(差押など)を実施しています(表2参照)。
市営住宅使用料や給食費などの私債権については、本人および保証人に催告や訴訟予告書を送付し、納付や連絡がない場合には裁判所をととした法的整理(支払督促申立・住宅明渡訴訟など)を実施しています。

さらに、平成21年4月から「長崎県地方税回収機構」が設置され県と県内市町が協働して市税などの滞納整理に取り組んでいます。

同機構では、滞納額が高額な場合など徴収困難な事案について、市から徴収引継ぎを受け、差押などの滞納処分を執行することを前提とした滞納整理を行っています。

また、市では、納税相談の強化を目的に、相談員として、家計相談の専門家「ファイナンシャルプランナー」と委託契約を結び、今年6月から相談業務を行っています。

税負担の公平性の確保と公共サービスの充実のために

私たちは、**滞納**を許さない

平成22年度 市税の現年度収納率は、97.9%。
市では、平成19年度から全庁を上げ、平成21年度からは県と連携し、滞納対策に力を入れてきました。
しかし、100人に2人が税を滞納している現状があります。
税は、市民のみなさんで公平に負担するべきものです。
公平性の確保のため
滞納には、毅然とした態度で滞納処分に取り組んでいます。
私たちは許しません。「滞納」を。



市で行っている滞納対策は、地方税法や国税徴収法に基づき適切に処理されています。また、さまざまな債権整理に関する専門書などで業務に精通する知識を各職員は身に付けています。

掘り出し物が見つかるかも？差押財産の公売会

公売を開催する目的は大きく2つあります。

1. 差押物件の売却により滞納金を減らすこと。
2. 滞納すると「差押→公売」という流れを市民のみなさんに理解してもらうことです。

今年6月に開催した長崎県市町合同公売会in平戸では、出品数457点中413点を売却。806,548円を滞納金に充てることができました。

今後も県、各市町が連携を取り、公売会の開催に力を入れていきます。

また、差押動産は、公売会以外に「期間入札」「インターネット公売」でも出品しています。市民のみなさんから多くの入札をお待ちしています。

■ 期間入札

期間入札は毎月1回、差押財産の写真を市役所ロビーに掲示して、約1週間の入札期間を定め、一般競争入札で公売を行っています。

■ インターネット公売

インターネット公売は、差押えた貴金属、自動車、不動産などをせり売りによって売却し、その売却代金を滞納金に充

てています。

詳しくは「Yahoo!オークション 官公庁オークション」をご覧ください。※市公式ホームページからもご覧になれます
官公庁オークションURL

<http://koubai.auctions.yahoo.co.jp/>

官公庁オークション

検索



平戸・松浦で差押財産の公売会を開催 Information

県市町合同で、差押財産の公売会を開催します。市民のみなさんのご参加をお待ちしています。

●長崎県市町合同公売会in平戸

と き 12月18日(日) 午前8時30分 受付開始
ところ 平戸文化センター大ホール
※自動車・液晶テレビなど457点を出品予定。
目玉物件など数点のせり売りも予定しています。

●長崎県市町合同公売会in松浦

と き 平成24年3月17日(土)
ところ 松浦市文化会館
松浦市志佐町浦免1110番地



税務課の窓口に行くことを嫌がる人は多いです。話し合っても結局は「税金を取られる」とみなさん思いがちです。滞納対策は、なにも差押や家宅捜索だけではありません。滞納があれば、どのように解消・解決していくか、相談を受けて話し合うことも滞納対策の一つです。

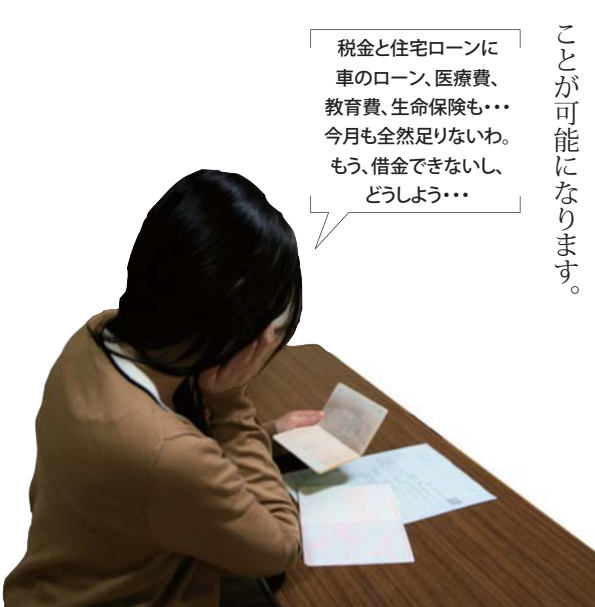
相談をすることで、生活の改善点に気づき、問題点を職員と相談者で共有し、対策を練ることができ、納税相談を生活改善のための相談と違って窓口に来てください。そして一緒に考えていきましょう。

滞納処分だけが滞納対策じゃない
相談も重要な手段です

しかし、収入に見合っていない返済をしている場合、貯蓄ができないだけでなく「借金返済」という目先の問題を優先し、冷静な判断力を失い、借金の返済も納税も中途半端になり、どちらも滞納してしまうということになりかねません。

FPは、このような問題に対し、住宅ローンの期間延長や計画の見直しの窓口になることができます。今回、住宅ローンで説明しましたが、どのような借金でも考え方は同じです。当然、納税についてもです。「正しい納税があつて、生活してその余力で借金を払う」このサイクルが逆になってはいけません。

ファイナンシャルプランナーへの相談が改善につながった主な例



税金と住宅ローンに車のローン、医療費、教育費、生命保険も…今月も全然足りないわ。もう、借金できないし、どうしよう…

市外県外の不動産業者が競り落としします。そして、業者がその住宅を元の所有者に高い家賃で貸しつけると。このような事案の相談者のほとんどが、住宅ローンを含めて借入金の返済比率が原因になっています。返済比率とは、支出の内訳で判断できます。通常、生活費が約60%、車の買い替えなどのイベントのための貯蓄が20%、残りの20%が借金の返済です。ある程度収入が減っても貯蓄があることで一定期間を過ごすことが可能になります。

ある家庭から受けた相談事例を基に話をしてみよう。その家庭は、借金はなかったのですが、毎月の収入に対してどのよう支出がされているのか把握していませんでした。私は、家族の生活状況を聞いた上で家計を整理しました。これは、現在使えるお金がいくらあるのか、正確に把握してもらうためです。そこからお金の役割分担を決めます。家計簿をつくり、食費、水道光

に考えるのが、FPです。生活収入を安定させ、納税能力を整えることを目的に、相談を受け付けています。生活の現状を正確に把握することからがスタートです。

一緒に考えることから始めましょう。

インタビュー 家計相談の専門家に滞納・納税相談の実情を聞く

納税相談

市では生活改善の手助けをするため、税制や住宅ローン、生命保険、年金制度などの幅広い知識を備えサポートしてくれる家計相談の専門家「ファイナンシャルプランナー」による生活相談の窓口を設けています。

●相談窓口開設日 毎週火曜日 午前9時～
「滞納は放置せず、税務課にご相談を」



相談員
ファイナンシャルプランナー
Financial Planner

松永 長一さん
Matsunaga Chouichi

平戸市役所や伊万里、松浦、大村市役所、有田町役場などでの相談業務や佐賀県・長崎県の滞納特別対策室の顧客相談も行う。趣味は、釣り。

瑞宝双光章

危険業務従事者叙勲・警察功労

元長崎県警部

はやし のぶ とし
林 信利さん

(田平町深月免)

「地域のみなさんのご支援とご協力に感謝します」

昭和34年から42年間、警察官として著しく危険性の高い業務に精励し、地域の安全を守り安心できる社会づくりに尽力されました。



瑞宝単光章

危険業務従事者叙勲・防衛功労

元三等海尉

た なか かつ ゆき
田中 勝幸さん

(田平町小手田免)

「家族の支えと隊員のご協力に感謝しています」

昭和44年から海上自衛隊に入隊。平成16年8月まで、護衛艦や南極観測船などでレーダーや無線機などを扱う電子整備に精励し、防衛に尽力されました。



秋の褒章、叙勲、危険業務従事者叙勲、各種表彰など

受章・入賞おめでとうございます

地方自治や教育などの分野での長年にわたる功労や社会貢献をたたえる秋の叙勲が11月3日に発令されました。平戸市では、藍綬褒章1人、旭日小綬章1人、瑞宝双光章5人、瑞宝単光章1人のみなさんが受章されました。

また、日々の努力が実を結び表彰された各種表彰者、各種大会での入賞者をご紹介します。

藍綬褒章

更生保護功績

現保護司

まつ せ かつ じ
松瀬 勝治さん

(田平町下寺免)

「支えてくれた家族や地域のみなさんに感謝します」

昭和62年から保護司となり、これまで殺人未遂や窃盗などの罪を犯した保護観察対象者と接して、社会復帰を支援してきました。



旭日小綬章

地方自治功労

元市議会議員

まつ もと よし ひろ
松本 好弘さん

(鏡川町)

「家族の支えと地域のみなさんにご協力に感謝します」

昭和46年に初当選。7期28年市議会議員を務め、本市の発展に尽力。任期中は市議会議長、総務委員会委員長、文教厚生委員会委員長などを歴任されました。



朝の読書大賞

第5回高橋松之助記念
朝の読書大賞

市立平戸小学校

校長 筒井 清信

「児童たちの読書を支えていただき感謝しています」

平成14年から朝の読書を毎日実施。校内での読書環境を整備し、学校図書館の活用を高めた活動が評価されました。受賞は全国の小学校で2校のみです。



県知事賞

第33回長崎県海の子作品展
絵画の部

たて いし ゆう さく
立石 裕咲さん

(大島中学校2年)

「こいのぼりと、漁師になりたい気持ちを重ね合わせました」

県下275の小・中学校から10,369点の作品が寄せられました。立石さんは「端午の出航」と題し、大根坂で見た風景をもとに構図を考えて描きました。



県知事賞

第33回長崎県海の子作品展
作文の部

さか もと げん き
坂本 玄輝さん

(大島中学校1年)

「漁師になるには、自然を守らなければなりません」

題は「海とともに生きる」。祖父と父が漁師で、将来は父の跡を継いで漁師になりたいと思っている気持ちから、大島の自然を大切に守りたいと感じて作文にしました。



長崎県公共図書館等協議会表彰

たびら読み聞かせ
やよいの会

代表 岡澤 清美

「受賞を励みに、これからも読み聞かせ活動を頑張ります」

長年、小学校を中心に読み聞かせを行い、本の大切さを広げるための勉強会や講演会を定期的に開催し、児童読書推進の原動力となっていることが評価されました。



瑞宝双光章

地方自治功労

元田平町助役

か とう ひろし
加藤 弘さん

(田平町山内免)

「職場の仲間と住民のみなさんにご協力に感謝します」

昭和31年から田平町に奉職。永年にわたり地方自治の振興と発展に貢献し、田平町の助役、収入役、総務課長、企画財政課長などを歴任されました。



瑞宝双光章

消防功労

元生月町消防団団長

まつ なが まさ し
松永 雅司さん

(生月町山田免)

「たくさんのご協力とご支援に感謝しています」

昭和42年から生月町消防団に入団。平成11年10月から生月町消防団長として、平成17年10月から平成20年3月まで市消防団生月地区団長として尽力されました。



瑞宝双光章

消防功労

元大島村消防団団長

むら い み のり
村井 美則さん

(大島村の山川内)

「受章は地域住民のみなさんにご協力のおかげです」

昭和31年から大島村消防団に入団。平成7年から大島村消防団長として、平成17年10月から平成20年3月まで市消防団副団長として尽力されました。



瑞宝双光章

危険業務従事者叙勲・警察功労

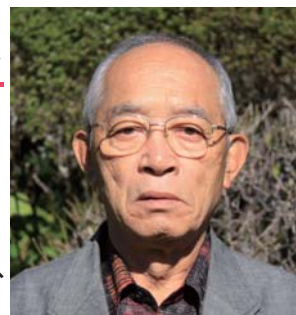
元長崎県警部

さか もと ひさ お
坂本 壽夫さん

(田平町小手田免)

「周りのみなさんに感謝し、地域に恩返しをしたい」

昭和34年から42年間、交通事故捜査や犯罪捜査などの業務に精励し、地域に根ざした警察官として、市民生活の安心と安全を守るために尽力されました。



第33回「長崎県海の子作品展」

海上保安庁表彰

【第七管区海上保安部長表彰】

生月漁業協同組合

【佐世保海上保安部長表彰】

平戸市漁業協同組合獅子事業所

館浦漁業協同組合

大島村漁業協同組合

ながさき水産大賞

【活力ある漁村づくり部門

漁業協同組合連合会長賞】

山川 富士夫(鮎川町)

◎各種受賞者、入賞者は次のとおりです

絵画の部

【長崎新聞社賞】

田中 朝海（野子中1年）

【しんぎよれん会長賞】

山田 勅温（紐差小6年）

作文の部

【農林中央金庫長崎支店長賞】

銀吉屋 圭（田助小学校5年）

第6回全国学校給食甲子園

【入選】

市立北部学校給食共同調理場

県体育指導委員協議会表彰

【功労者表彰】

吉川 敏（生月町）

石田 虎夫（宝亀町）

【感謝状】

松本 久幸（岩の上町）

県民体育大会成績

【優勝】

○団体

相撲（成年男子）5年連続

○個人

松永 六十四（相撲・成年・川内町）

4年連続

田原 正伸（50歳以上50m平泳ぎ・浦の町）

【準優勝】

○団体

サッカー（40歳以上）

軟式野球（成年一般）

クレー射撃（成年男子）

○個人

平戸市美術展覧会（入賞者）

【市長賞】

吉木 逸子（画の部・岩の上町）

森 富美子（書画の部・田平町）

松永 喜與巳（写真の部・紐差町）

【市議会議長賞】

林 英一（画の部・田平町）

【市教育長賞】

岡部 未来（画の部・中野小6年）

吉本 有希（書画の部・平戸小1年）

【市文化協会賞】

松山 清（画の部・深川町）

大鳥居 和子（書画の部・大久保町）

井澤 英樹（写真の部・田平町）

川原 政人（工作の部・田平東小1年）

【市自治連合協議会長賞】

立石 利一郎（書画の部・宮の町）

【市教育会長賞】

橋口 裕太（画の部・平戸小5年）

【市PTA連合会長賞】

濱崎 彩翔（画の部・田平東小4年）

鴨川 志帆（書画の部・平戸中2年）

【平戸観光協会賞】

前田 廉（画の部・生月小3年）

【平戸商工会議所会頭賞】

山内 香織（デザインの部・田平南小6年）

【長崎新聞社賞】

川村 保（画の部・紐差町）

【西日本新聞社賞】

浦辺 真希代（書画の部・西中山町）

【読売新聞西部本社賞】

村田 徳子（画の部・田平町）

【平戸市医師会長賞】

森田 邦子（書画の部・築地町）

【平戸ロータリークラブ会長賞】

俵屋 健太郎（画の部・田助小2年）

【平戸ライオンズクラブ会長賞】

種元 里沙（デザインの部・生月小4年）

【平戸オランダ商館開館記念賞】

針尾 将紀（画の部・堤小1年）

【奨励賞】

神保 増夫（画の部・鏡川町）

池田 淑江（画の部・浦の町）

大石 大成（画の部・紐差小1年）

下川 彩恵（画の部・中野小2年）

氏田 嘉尚（画の部・中津良小3年）

川口 勇人（画の部・中津良小4年）

【松本尚之賞】

松本 尚之（画の部・中野小5年）

川瀬 詩織（画の部・生月小6年）

塚本 勝也（書画の部・田助小1年）

浦部 真希（書画の部・平戸小4年）

橋口 裕太（書画の部・平戸小5年）

大村 真太郎（工作の部・志々伎小3年）

林 穂乃花（デザインの部・紐差小3年）

松田 絵美莉（デザインの部・田平南小5年）

（敬称略）

未来の平戸へバトンタッチ——教育長交代

11月14日に開催された平成23年11月平戸市議会臨時会で、平戸市教育長の選任について同意され、杉澤伸慈氏が11月19日付（任期4年）で新しい教育長に就任しました。

新教育長 杉澤 伸慈 氏（62）

【略歴】

旧西彼崎戸町出身で長崎大学教育学部卒。昭和49年生月中学校教諭となり、県内6中学校、県教委、長崎市教委教育研究所長を務めたあと、平成19年度には県中学校校長会長、県校長会副会長を歴任。平成22年3月、長崎市立桜馬場中学校長を最後に退職。今年10月末まで県PTA連合会事務局長を務めた。



心豊かでたくましい子どもの育成へ全力を傾けます

教育長就任あいさつ

このたび、思いがけずも教育長を拝命しました杉澤でございます。

30数年間の教職生活を本市生月町でスタートした私は、生月で過ごした6年間で、教師道というものを学ばせていただきました。まさに私の教師生活の原点はこの地にあります。そして今回、教育長という立場で恩返しができますことは、誠に光栄であり、身の引き締まる思いです。

この上は、初めて教壇に立ったときのあの身震いするほどの緊張感を思い出しながら、そのときと同じ初心に返って、本市教育の更なる充実発展と心豊かでたくましい子どもの育成のために、全力を傾ける決意であります。

子どもは、社会の希望の象徴です。美しいものに素直に感動するみずみずしい感性と、困難なことにもくじけないたくましい子どもたちに育つよう、力を尽くしたいと思えます。地域のみなさまにおかれましては、学校・家庭・地域社会が一体となつて、私どもに心強いお力添えと温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさついたします。

お疲れ様でした

前教育長退任あいさつ



前教育長 吉居 辰美 氏（67）

【略歴】

昭和42年、南松浦郡有川小学校を振り出しに、平成17年3月末、平戸小学校長を退職するまで37年間教職を勤めた。この間、平成13年から2年間は市教委学校教育課長、18年度は平戸図書館長を歴任したあと、平成18年6月教育長に就任し、2期5年5カ月間勤めた。



▲退庁式で退任のあいさつをする吉居教育長

私は11月18日をもって、任期満了により平戸市教育長を退任させていただくことになりました。平成18年6月、この職を拝命して以来、2期5年5カ月間の勤めでありました。無事与えられた任期を全うできましたのは、多くのみなさまに支えていただいたおかげであり、衷心より厚くお礼を申し上げます。

教育委員会にはさまざまな課題が存在していましたが、なかでも昭和62年の発掘調査以来、20年以上にわたって続けてきた平戸オランダ商館復元事業は最も難しい仕事でありました。おかげで任期中に開館の瞬間に立ち会うことができたことは、大変光栄なことでもあります。

「子どもから次の日本が生まれる。子どもから新しい世紀が生まれる」の言葉があります。将来の日本を背負って立つ子どもたちのために、人間としての基礎を養うために今、何をなすべきか、常に己に問いかけながら仕事を進めてきました。

平戸市では、このところ、子どもの人間力を高める読書活動が盛んになってきていることをうれしく思います。平戸市のますますの発展をお祈りし、退任の挨拶いたします。本当にありがとうございました。

大島村ふるさと祭り

11月13日、大島支所横広場で「第27回大島村ふるさと祭り」が行われました。ステージショーでは、子どもたちのおゆうぎや、小・中学生による合唱、大島分校3年生による劇などが披露されました。会場では、新鮮な野菜や海産物、加工品や長崎和牛などの販売やバザーが開かれました。また、人気の「サザエのつかみ取り」と「にこまる米のすくい取り」では長い行列ができました。天気もよく、大島の恵みに感謝する1日となりました。

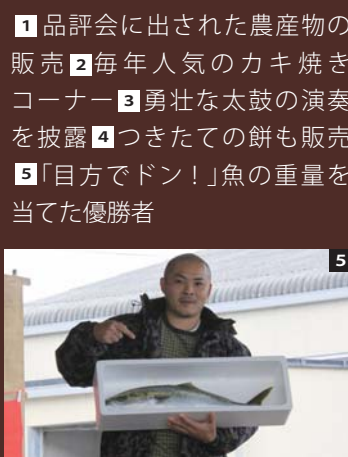


1「取れたばい！」笑顔たくさん「サザエのつかみ取り」2即完売となった長崎和牛 3大島小学校の全校児童による合唱 4フィナーレは餅まき

平戸藩の



11月23日、生月支所前漁港用地広場で「いきつき勇魚まつり」が行われました。祭りは、生月勇魚捕唄保存会ジュニアによる太鼓の演奏で開幕。新鮮な農産物や海産物、加工品、長崎和牛やクジラなどが販売されました。ステージでは、よさこい演舞の披露やヒーローショー、魚や米の重量当てクイズ「目方でドン！」などが行われました。会場には、市民や観光客など約5,300人が訪れ、秋の味覚を満喫しました。



1品評会に出された農産物の販売2毎年人気のカキ焼きコーナー3勇壮な太鼓の演奏を披露4つきたての餅も販売5「目方でドン！」魚の重量を当てた優勝者

いきつき勇魚まつり

10月22日と23日の2日間、中心市街地一帯で「平戸くんち城下秋まつり」が行われました。歩行者天国となった会場には、平戸ならではの食メニューや特産品の販売などが登場し、マップを片手にお目当てのグルメを探す姿も。会場内では、ちびっこ伝統芸能や合唱など多彩な催しが行われました。祭りのフィナーレでは田助ハイヤ節の総踊りも披露。市民のみなさんや観光客など2日間で20,000人の来場があり、町はにぎわいを見せました。



秋めぐり



1多くの来場者でにぎわった会場2まちなかキャラクターを探して腹ぺこスタンプラリー3姉妹都市・交流都市屋台コーナーでは各地の特産品やご当地グルメを販売4田助ハイヤ節総踊りには7団体が参加5お目当てのグルメをいただきます6ちびっこ伝統芸能で披露された「平戸龍踊り」7子どもから大人まで大人気だった猿回し8食欲をそそる匂いが漂いました9中高生ボランティアスタッフも大活躍10小学生が特産品などの販売にチャレンジ11平戸オランダ商館では美しい合唱を披露。長崎居留地男性合唱団がゲスト出演

平戸民俗芸能祭

10月22日、平戸文化センターで「第2回平戸民俗芸能祭」が行われました。先人たちの息吹が今に受け継がれる芸能祭では、宮の町獅子舞、大島の須古踊（県指定無形民俗文化財）、堺目ヨホー太鼓、平戸神楽（国指定重要無形民俗文化財）、田助ハイヤ節（県指定無形民俗文化財）が披露されました。また、特別出演で佐賀県鹿島市の音成の面浮立（佐賀県指定重要無形民俗文化財）も披露されました。



1獅子舞（宮の町）2鹿島（音成）面浮立（佐賀県鹿島市）3堺目ヨホー太鼓（生月町）

自然は一つ。海も育てる森林づくり

10月29日、大島村で、第4回平戸市育樹祭が「豊かな海につなぐ平戸市民の森林づくり」をテーマに開催され、112人が参加しました。育樹活動では、講話と木工教室が行われ、参加者は、慣れない手つきで本立てやコースターを制作。また、大島村漁協女性加工部のみなさんが振る舞ったおにぎりや豚汁の昼食後に、本市の花木「ヤブツバキ」1,000本を参加者全員で植樹しました。参加者は、「日ごろ機会がない、木工細工や植樹体験に子どもたちも喜んでいて、良い経験になりました」と話してくれました。



ユニークなかかしが勢ぞろい

11月6日、見る来公園（鮎川町）で「第1回案山子コンテスト」（津吉あかるくらぶ主催・小値賀渡代表）が開催されました。津吉地区から14点が出品。かかしは、漂着物や使用済みの漁具、竹やわらなどを使って作られました。表情豊かなかかしを、その場に居合わせた人と思って声をかける場面も。公園に集まったみなさんによるかかしの人気投票と、審査員による審査の結果、老婦が道端でくつろぐ様子を表現した「老婆の休日」（小鳩保育園）が見事グランプリを受賞しました。



空気が乾燥する季節。火の取り扱いに注意！

11月9日、秋の火災予防運動に合わせて火災予防啓発パレードが行われました。このパレードは、空気が乾燥し、火災が増えるこの時期に火災防止への意識を高めることを目的にしたもの。消防団や婦人防火クラブ連絡協議会などから約200人が参加し、平戸市消防署から平戸港交流広場までの区間1.7kmを約1時間かけてパレード。また、パレードには、幼年消防クラブの園児たち92人も参加し、「火の用心！マッチ1本火事の元」と拍子木と大きく元気な声で火災予防への注意を呼びかけました。



音楽でみんなを笑顔に

11月12日、平戸文化センターで、「平成23年度平戸市青少年音楽会」が行われました。市内の小学校3校、中学校1校、高校2校の児童生徒のほか、高校の卒業生で構成したグループや中学校と高校の教職員で構成したグループが出演。吹奏楽やコーラス、アカペラ、ハンドベルなどの演奏を披露しました。会場は、演奏に合わせて手拍子が出るなど盛り上がりがありました。音楽会のフィナーレは、参加者全員による全体合奏と合唱で「アンパンマンのマーチ」を披露しました。



まの できごと NEWS

図書館フェスティバル

10月29日、平戸文化センターで、「図書館フェスティバル」が初開催され、約600人が来場しました。「絵本作家と布バックにおえかき」では、絵本作家の菊池日出男さんと福田岩緒さんと子どもたちが、思い思いの絵を布バックに描いていました。また、鳥取県図書館協会長の山田晋さんと同県図書館支援協力課長の小林隆志さんを迎えた講演「図書館の可能性」で、小林さんは、「図書館に本があることが重要ではなく、本を通して人がつながることが重要」と話しました。ほか、九州国立博物館キャラバンによる「アジアの国の文化体験」も行われました。



初期消火操法競技大会が開催

10月25日、市総合運動公園駐車場で、第21回初期消火操法競技大会が行われました。この大会は、火災予防の一環として職場などで防火意識を高めることを目的に行われ、市内の各事業所で編成された自衛消防隊38チーム88人が出場し「消火器の部」と「屋内消火栓の部」で訓練の成果を競いました。優勝者は次のとおり。
【消火器の部】男性：平戸市役所生月支所、女性：獅子保育園
【屋内消火栓の部】男性：医療法人医理会柿添病院、女性：養護老人ホーム光の園



こんにちは赤ちゃん。乳幼児ふれあい体験

10月25日、猶興館高校で、乳幼児ふれあい体験が行われました。0歳から3歳までの子ども12人と母親11人が来校。ふれあい体験に参加した3年生男女29人の生徒たちは、グループに分かれて子どもたちのお世話を体験。赤ちゃんを抱っこしてミルクを与えたり、おもちゃで遊んだり、子どもの年齢に応じて楽しくふれあいました。また、生徒たちは、赤ちゃんの成長記録の写真などをお母さんたちに見せてもらい、育児について話を聞き、乳幼児の成長と発達について学びました。





平戸オランダ商館風説書

～「平戸オランダ商館長日記」で歴史を読み解く～

12月ににぎわうイベントにクリスマスがあります。

今でこそ私たちにとってもなじみ深くなった日ですが、平戸オランダ商館ではクリスマスはどのように過ごしたのか興味のあるところです。そう思って、平戸オランダ商館長の日記を見てみたのですが、見つけることができませんでした。

よく考えてみれば、その当時の日本は、禁教令によってキリスト教に関することはご法度の時代。オランダ商館もそのことはよく心得ていましたので、禁教令にふれることは行っていないはずはありません。おそらく表立ってクリスマスを祝うようなことはしなかったと容易に推測されます。

しかし、一時期平戸に設置されていたイギリス商館の商館長日記にはクリスマスについて次のような記録が見られます。

「タカモン殿(松浦重忠)が酒二樽と魚二尾を、王(松浦隆信)は鯨二切を、また、チャイナキャプテン(李旦)はシナ産の酒一壺を、ほかの隣人たちは、ほかのささやかな品々を、贈物として届けてくれた。クリスマスだからである」(日本関係海外史料イギリス商館長日記 1615年12月25日の記述より)。

つまり、クリスマスに平戸藩主や重臣、中国商人などから、イギリス商館にクリスマスの贈物がされていたことがうかがえます。

1615年といえば、すでに全国的に禁教令が出

されていますので、表立ったクリスマスの贈物ですとは言わなかったと思いますが、12月25日にイギリス商館にクリスマスプレゼントを送ったということは、平戸の人たちがキリスト教の記念日についてある程度の知識をもっていたことを見て取ることができます。

このように、オランダやイギリス商館の歴史を調べるときに重要となる書物などを「史料(歴史を調べるために使う資料)」と言います。普通、史料は信頼のおけるものから1級・2級と区別されます。1級の史料は日記や手紙など、その時代を生きた人が直接記録したものを指します。

商館長日記は、まさに1級史料にあたります。特に江戸時代初期の日本側の1級史料が少ないことから、オランダ商館長日記はそれを補って余りあるものといえます。

また、日本人の習慣などにも触れられた記録もあり、江戸時代の日本人の姿を知る手がかりにもなります。

「商館長日記を読む会」が開催されています

平戸オランダ商館では、「商館長日記を読む会」を行っています。商館長日記を読むことで、当時の様子やその時代に生きた人の喜びや楽しみ、苦しいこと、悲しいこと、いろいろな体験を感じることができます。

興味のある人は、ぜひ、ご参加ください。

○と き 毎月第1・第3水曜日午後6時30分

○ところ 平戸オランダ商館2F多目的ルーム

平戸と長崎の共通の歴史を貴重な展示品で知る

11月12日から12月18日(日)まで、平戸オランダ商館で、企画展「つづられた商館の記憶～平戸と出島～」が開催されています。この企画展は、オランダとの交易や交流という共通の歴史をテーマとなっています。また、企画展初日には、山口美由紀さん(長崎市出島復元整備室学芸員)が展示解説を行うギャラリートークが行われ、展示品の歴史的な価値や当時の生活の様子を分かりやすく解説しました。



■お問い合わせ 文化遺産課和蘭商館復元推進班(☎内線2637)



平戸オランダ商館Topics!

フォトニュース

平戸オランダ商館で結婚50周年目の思い出を

10月31日、平戸オランダ商館で、結婚50周年を祝う金婚式の記念撮影のイベントが行われました。この記念撮影は、市内外の婚礼関連業者有志で結成した「なでしこ会」(長嶋美智代表)が、平戸オランダ商館と平戸での結婚式を行う魅力をアピールするため無償で企画したものです。9月からの募集で、抽選に当たった市内3組と市外1組の夫婦4組が好みの衣装を着付けてもらい、撮影に臨みました。撮影中のみなさんは、色鮮やかな本振袖や人生で初めて袖を通す純白のウエディングドレス、モーニング姿に緊張した面持ちでした。また、夫婦4組には、撮影後、カピタンのレムコー・フロライクさん(市国際交流員)から記念品としてオランダ産チューリップの球根や花束、小物が贈られました。



クラシックの名曲が商館に響く

10月29日、平戸オランダ商館で、「平戸オランダ商館開館記念コンサート」が開催され、市民のみなさん130人が商館内に響くクラシックの名曲に耳を傾けました。コンサートには、OMURA室内合奏団のバイオリン、フルートなどの団員6人が出演し、「オランダ国歌」「秋」など11曲を演奏しました。今回が平戸オランダ商館内で行われる初めてのコンサートで、訪れた人は「商館で初めてコンサートが開かれると聞いてきましたが、とても雰囲気がよく、より優雅に聞こえるようです」と話してくれました。



オランダ商館で音楽の楽しさを堪能

11月4日と5日の2日間、生月町博物館・島の館と平戸オランダ商館で、「ながさき音楽祭2011～時の旅 音の旅～」(県など主催)が開催され、長崎市を中心に木管楽器の演奏で活躍する「アンサンブル・POE」が出演しました。コンサートホールのように音が響く商館で、ルネサンス時代の曲から最新のポップス曲、ミュージカル曲など計26曲を演奏し、集まった観客約130人を音楽で時の旅に誘っていました。また、演奏だけでなく、演奏前の寸劇や歌で会場を楽しませました。



Interview

大石 妃富美
生涯学習ボランティア俳句を学び
日本語の美しさを再認識

「平戸は自然も歴史文化もたくさんあって、俳句を詠むにはとても素晴らしいところなんです。そう話すのは、南部公民館で地域のひとたちと俳句作りを楽しんでいる大石妃富美さん。東京で書道の勉強をしている時、書で表現する言葉は自分をつくるものと教えを受け、自分の思いを「書」にするきっかけとなったのが、俳句でした。

大石さんは、平戸に帰ってきてから地元で活動しているサークルで俳句を学んでいくうちに、日本語の美しさ、ゆかしさを再認識し、平戸の自然や歴史文化の素晴らしさをあら

生涯学習実践人
大石 妃富美さん
◎上中津良町(56)

南部公民館運営審議会委員、図書館協議会委員、津吉わかさ読書会会長。
趣味はコーラスと茶道。とっておきの場所は川内峠。大自然の中で心をリセットし、書や俳句などを作り出すヒントを得ているそうです。

ためて実感したといいます。
「今の子どもたちに美しい日本の言葉があることを、俳句作りを通して伝えていきたいと思っています。日本人として美しい日本語を残すことはとても大切だと思います。大石さんが指導している子どもたちの俳句は、上達を見させて長崎新聞ジュニア俳壇にも掲載されています。
「私たちが住む素晴らしい平戸を俳句に詠んで、もっと全国に発信したいと思っています」と笑顔で語ってくれました。

美しい日本語を次の世代にも伝えたい

「学ぶとは心に誠実を刻むこと、教えるとは共に未来を語ること」先人の言葉が私の活動の源です。

健康・福祉

いきいき通信

health and welfare information

vol.18



子育てガイドブックの「タイトル」を募集します!

今年の10月からママの目線から子育てに役立つ情報満載の子育てガイドブックをつくっています。今回、このガイドブックの表紙の「タイトル」を募集します。

ガイドブックの作成メンバーは、子育てサークルのママたち、幼稚園の先生、保育園の先生、放課後児童クラブの先生、社会福祉協議会の職員、保健センターの保健師で構成する子育て応援ガイドブック制作委員会です。ガイドブックは、就学前児童がいる家庭へ来年春ごろの配布を予定しています。

【お問い合わせ】 福祉課 子育て支援班(内線2575)

ママたちの声から生まれたガイドブック構想

子ども、子育てに関する制度や事業は、保健・福祉・教育・観光・建設などさまざまな部署が関わっています。これらの行政情報を一本化し整理することで、子育て真っ最中のママたちに分かりやすく必要な情報を伝えることができるのではないのでしょうか。

そこで、子育てサークルのママたちから、「お出かけ情報があれば安心して外出できるよね」また「親子でお出かけする機会が増えれば、子育てがもっと楽しくなるね」という話があってガイドブックを今回つくることになりました。

ママの目線から役立つ情報を掲載!

たくさんある子育ての制度・事業の中から行政情報は、必要最小限にまとめて、妊娠から出産、育児に至るまでの必要な手続きや助かる制度の情報や公園や飲食店などママたちが子どもとお出かけするときに役立つ情報などを紹介していきます。

ガイドブックのタイトルを募集します

市民のみなさんになじみやすく愛着が持てるようなタイトルをつけることで、ママたちが自然と手に取り、何度も読みたくなるようなガイドブックに仕上げていきます。

1. タイトルは、簡潔で分かりやすいものにしてください。アルファベットまたはカタカナ、ひらがな可能。
例) 大好き平戸っ子
2. タイトル理由を90字以内で書いてください。

ママの声を聞かせてください

「子育てガイドブックにこんな情報載せて欲しいな」と

思うママの声を書いてください。

例) 雨の日でも親子で遊べる施設、緊急・夜間時に診察してくれる病院など

○応募資格 平戸市民であればどなたでも

○応募方法 郵便、Fax、Eメールで、氏名(ふりがな)、年齢、性別、住所、電話番号、ペンネームを記入の上、タイトルについてはタイトルとタイトルの理由または、意見「こんな情報載せて欲しいなど」を書いてください。
※電話での応募は、受け付けていません。

○応募締切 12月22日(木) 当日消印有効

○あて先 「子育てガイドブックタイトル募集」係(福祉課 子育て支援班内)

〒859-5192 平戸市岩の上町1508番地3

Fax 22-4421

Eメール fukushi@city.hirado.lg.jp

○採用タイトル

5,000円相当の春日町の棚田米を1名様にプレゼント。(「タイトル」の採用プレゼントであり、「ママの声」への採用にプレゼントはありません)

※子育て応援ガイドブック制作委員会が審査を行い、1月下旬、採用者に直接通知します。

また、子育てガイドブックの冊子に氏名(あるいはペンネーム)、町名、タイトル理由を掲載します。



▲ガイドブック製作委員会は、子育てママの支えになれる、力になれるガイドブックを目指しています



▲数々の貴重な資料からは当時の厳しい弾圧の足跡を思い浮かべさせるオーラを感じました。

日本の快水浴場百選にも選ばれている平戸を代表する根獅子海水浴場から少し入り込んだ静閑なところに佇む資料館は、まるで往時のキリシタン弾圧からひっそりと隠れているような雰囲気をもし出しています。根獅子地区は対岸の生月島と同じく、キリシタン禁教以来の殉教の地であり、明治6（1873）年に禁教令が解かれた後も、地域の信者の人たちは表面上、仏教徒となり納戸神（潜伏キリシタン）の信仰を続けておられました。この切支丹資料館は、近年そつした信仰のあり方を顕彰し、祭具などの貴重な資料を将来に受け継ぐために、昭和57（1982）年に建設されたものです。館内は204mとそれほど広くはありませんが、キリスト教迫害の経過や信者の苦悩、弾圧の足跡などが時系列的に解説しており、また信者の人たちが残してくださった貴重な資料からは、まさに当時の歴史的背景が思い浮かびあがるような厳粛かつ重々しいオーラが感じられました。

私にとって意外だったのは、平戸港沖の度島におけるキリスト教布教の足跡です。15力所もの史跡が記されていました。この事実を度島地区の人たちや地元の小中学校できちんと周知されているのだらうかと思いましたが、今後の両地区の交流などに期待します。



▲切支丹資料館は根獅子の浜海水浴場の近くです。（所在地：大石脇町1502-1）

魅力溢れる平戸。みなさんは本物の平戸を体験していますか？

黒田市長の平戸初体験

根獅子町の切支丹資料館を見学しました

このコーナーは、市長が初体験した平戸の魅力を、広く市民のみなさんにも参画し、体験してもらうためのコラムです。

■オランダ人から見た平戸

11月18日。天気は大雨。やや強い北風。オランダでは雨の日が多いので、今日の天気でもオランダを思い出します。しかし、一番オランダを思い出すのは、私の親の話です。親が11月に平戸に来ましたので、平戸について、いろいろ新鮮な話を聞きました。まず親がビックリしたのは、トイレの数でした。トイレはたくさん設置されてうれしかったのですが、逆に、ごみ箱がないことにびっくりしました。ヨーロッパではどこでも設置されているけど、日本では自分のごみを持って帰らないといけません。それでも、道ではほとんどゴミを見かけないことに感動していました。また別に、親は小さなお土産をあげたら、多くの平戸の人にお返しとして立派なプレゼントをもらいましたので、困っていたみたいです。お返しという文化は日本ほどありませんので、ちょっと申し訳ない気持ちになりましたが、平戸のみなさんの優しさがたっぷり伝わったみたいです。少し平戸市外へも旅行しましたが、日本の自然の美しさに驚いていました。しかし、道路やダムは大量のコンクリートで作られていることに驚いていました。日本では生け花や書道など、細かなところに大きなこだわりがあるのに、大きな面でこだわりが少ないと両親が話していました。みなさんはどう思いますか？今回の訪問で平戸の人の優しさ、風景の素晴らしさに感動して、大満足でオランダに帰りました。

カピタンの日記とは・・・

「400年前には平戸オランダ商館のカピタンが日記を書きましたので、それを再現し、カピタンから見た平戸やオランダの文化の違いや説明をこのコーナーで提供します。」

カピタン日記

国際交流員
レムコー・フロライク

今月の
おすすめ
本



平大

『1001のクリスマスをさがせ!』

作/アレックス・フリス
絵/テリ・ガウアー、訳/荒木文枝
出版社/PHP研究所

サンタの工房、真冬の舞踏会、クリスマスパーティー…。1年で一番わくわくするクリスマスは、サンタも助手も準備で大忙し。たくさんさんの絵さがしと、カラフルなイラストが魅力のクリスマス絵本です。



平

『ゆきだるまのスノーぼうや』

作/ヒド・ファン・ヘネヒテン
訳/のざかえつこ
出版社/フレーベル館

雪だるまのスノーぼうやは、動きたくてたまらないのに、まわりの雪だるまたちに止められてしまいます。ある日、思い切って体を動かして走ってみたスノーぼうやが向かった先には…。



田

『佐賀のがばいばあちゃん 1 ～ばあちゃんとの出会い～』

作/島田洋七、絵/はたこうろう
出版社/徳間書店

小学校二年のとき、佐賀で、ばあちゃんと暮らすことになった、洋七くん。ばあちゃんは、貧乏だけど、そこぬけにあかるくて、がばい(すごい)人だった! すこしまえの日本に、本当にあったお話です。

としょかん
みんなの図書館

このほかにもたくさんの
新着図書があります!!



生

『平清盛 王朝への挑戦』

編/高橋昌明
出版社/平凡社

「平氏にあらざるば人にあらず」。平家の全盛期を築いた清盛が見つめたものとは…。武士として初めて太政大臣となり、また安徳天皇の祖父として、時代に君臨した男の64年の生涯。来年の大河ドラマの主人公を、関連資料や絵巻などの図版とともに紹介しています。



南

『とじ・はぎなし ネットから編むセーター』

出版社/日本ヴォーグ社

「セーターを編みたいけれど、肩・脇とじや袖つけが面倒だわ」。そんなあなたにぴったりの、丸ヨークとラグランスリーブの棒針編み簡単ニットを紹介しています。初めてでも編める詳しいプロセス解説付きのこの本で、今年の冬は、あったか編み物にチャレンジしませんか。



永

『あつあつを召し上げれ』

著/小川糸
出版社/新潮社

日ごろ、何気なく繰り返している行為「食べること」。そんな中、ふいに訪れる奇跡のような食卓がありました。大好きな人と一緒に食べる幸福な食事の情景は、読み手の心に深い感動を誘います。7つの物語が、そっとあなたを温めてくれます。

※平：平戸図書館 永：永田記念図書館 南：南部公民館図書室 生：生月町中央公民館図書室 田：田平町中央公民館図書室 大：大島村公民館図書室

～図書館からのお知らせ～

平戸・永田記念図書館開館時間：午前10時～午後6時（金曜日午前10時～午後7時）

平戸図書館 ☎22 - 4017

◎休館日/6日図、13日図、20日図、27日図～1月3日図（年末図書整理、年末年始）

●12月の主なもよおし●

■おはなし会/毎週土曜日 午後2時～

※24日図は、クリスマスのおはなし会を開催します。



■クラフト教室/10日図 午後2時～ 北部公民館大ホール
■赤ちゃんおはなし会/14日図 午前10時30分～ 北部公民館 和室大



永田記念図書館 ☎28 - 0128

◎休館日/6日図、13日図、20日図、25日図、27日図～1月3日図（年末図書整理、年末年始）

●12月の主なもよおし●

■おはなし会/3日図・17日図・24日図 午後2時～ 市ふれあいセンター児童室

■折り紙あそび/10日図 午後2時～ 市ふれあいセンター児童室

■クリスマスあたのしみ会/23日図 午前10時～ 市ふれあいセンター会議室



南部公民館図書室 ☎27 - 0047
生月町中央公民館図書室 ☎53 - 0541
田平町中央公民館図書室 ☎57 - 0207
大島村公民館図書室 ☎55 - 2985

雄大な自然、おいしい食材の平戸に感動！～改革精神を持って平戸のP Rに励んでほしい～



▲9月17日平戸オランダ商館開館にて、秋篠宮同妃両殿下とオランダ船「デ・リーフデ号」をご覧になる古森会長

今回の相手・古森 重隆さん

昭和14年生まれ。長崎県出身。富士フイルムホールディングス株式会社代表取締役社長・CEO、日蘭協会会長。富士フイルム社長として長年にわたりオランダにおいて欧州全体に対する幅広い経済活動を展開してきたことと環境保全に努めてきたことに加え、オランダの大学などの公共機関と提携して教育・R&D(研究・開発)を推進。また、両国の文化、経済交流の促進に努めたことや「日本・オランダ年2008-2009」への多大な貢献などが評価され、2010年にはオランダ王国ベアトリックス女王から「オレンジ・ナッソー勲章・コマンダー章」を受章されました。

古森会長 その立地条件はどのような場所ですか？

平戸市長 平戸大橋のふもとの港湾施設内で、対岸に平戸城や平戸オランダ商館が見える景勝地です。そばには国道204号が接続していますし、日本最西端の駅である松浦鉄道の「たびら平戸口駅」からも数分で移動できる距離で、大島村との定期船も接続しています。

平戸市長 まさにその通りだと思います。これまでは平戸の素晴らしい食材も全て市場まかせで、付加価値戦略に遅れをとっていました。その原因は、平戸で生産される種類が多すぎて「いつでも同じものが取れる」「毎回同じ分量を供給できる」というブランド戦略の大前提が難しい状況にありました。でもこれからは「平戸地域ブランド」として、平戸ならではの魅力を付加価値にして商品取引ができないか関係者と検討協議をしているところです。その際の中核的施設が来年2月にオープン予定の「田平港シーサイドエリア活性化施設」です。

んだってことは知りませんでした。最近健康志向が強いので、少しは高額であつてもお客様は評価してくださると思いますよ。



平戸市長 黒田 成彦

日蘭協会会長 古森 重隆

市長のトップ
対談シリーズ
08

雄大な自然、おいしい食材の平戸に感動！～改革精神を持って平戸のP Rに励んでほしい～

オランダ船「デ・リーフデ号」平戸オランダ商館へ寄贈

平戸市長(黒田成彦) 9月17日の平戸オランダ商館開館記念式典には遠路平戸までお越しいただき誠にありがとうございました。またこの度オランダ船「デ・リーフデ号」の精巧な展示品を寄贈いただき心より感謝しております。

日蘭協会会長(古森重隆) 当日は天気が良すぎて夏日を思わせる炎天下となり、かえって思い出深い日となりましたね。お贈りしました船の模型は、日蘭協会の依頼により、東京上野にあります国立博物館で長い間保管されていたもので、先ごろ国立博物館より引き取り、私どもで保管しておりました。しかし、この度の平戸オランダ商館の開館に際し、協会の事務局にあるよりも、むしろ平戸で展示される方がふさわしいと判断し、寄贈させていただいた次第です。

平戸市長 それほど価値のあるものを本当にありがとうございました。ところで当日が初めての平戸訪問だったとお聞きしておりますが、印象はいかがだったでしょうか。

古森会長 とても美しく雄大な自然景観に恵まれ、歴史的な風格がその

キーポイントは「4P」その中身とは？

古森会長 私たちが事業を展開していく上で重要なポイントは4Pです。それは、まず「プロダクト」、つまり商品そのもの。次に「プライス」、値段ですね。高すぎても安すぎてもいけない、いわゆるリーズナブル価格設定です。そして「プレイス」、場所です。どこで売るか、どういうルートで売るかは重要な要素です。最後に「プロモーション」、宣伝活動です。もちろん口コミっていうのは重要な要素ですが、いかに事業者がPR戦略を主体的かつ戦略的に進めていくかが大事です。宣伝っていうのは目の先の計算では計れない難しい商業活動なんです。でも意外に宣伝の方法によっては事業成果が確実に変わってきます。平戸の魅力をいかに売り込むか、市長さんに期待したいですね。

平戸市長 貴重なご助言ありがとうございます。今この4Pというのは、大事なアイテムですね。平戸は日本最西端という地理的ハンディがありましたので、「プレイス(場所)」では決して有利とはいえませんが、今、福岡経済圏をターゲットに、あらゆる機会を通して官民一体となつて頑張っているところです。

まま受け継がれている伝統的な重みを感じられました。特に昼食会場のホテルからは平戸城、平戸大橋、寺院や教会の尖塔も見えて感動的でした。それから魚がおいしいね(笑)。これだけの魅力をもっと宣伝されたら良いと思いますので市長さんも若さを發揮して、どんどんPRに汗を流してくださいよ(笑)。

平戸市長 力強い応援をありがとうございます。ご指摘の通り、まだまだ宣伝活動が足りないと感じています。現在は、平戸物産のブランド戦略について、関係団体と力を合わせて頑張っているところでして、平戸オランダ商館開館から1週間を「平戸和蘭WEEK」と位置づけ次の土日は「平戸」新あご「祭り」を開催しましたところ、2日間で1万5千人を超すお客様にご来場いただきました。そして平戸オランダ商館も開館1週間後には来館者5千人を達成するなど、相乗効果もたらされています。

食の宝庫・平戸地域ブランドとして発信

古森会長 私も長崎県出身なので「あご」のおいしさはよく知っています。最近「五島うどん」が健闘していて、そちらが「あごだし」で売っているものだから、実際は平戸が盛

古森会長 それから「イノベーション」いわゆる技術革新が大事です。ひとつ成功すると人間っていうのはすぐ甘えてしまいかねません。このまま成功の状態が続くと勘違いしてしまう。でも市場はそんなに甘くはなく、私たちは常日ごろ、さらに良いものにどうすれば変わるかという改革精神をもって事業を見つめています。そうでなければすぐ淘汰されてしまうほどの厳しい世界ですよ。

平戸市長 今日は本当にありがとうございました。ご指摘をいただきました。私もたくさん市の事業が実施されるごとに「反省」と「検証」を具体的に厳しく行なっていますが、今後の市政運営に反映したいと思います。

古森会長 そのバイタリティーで平戸の魅力をどんどん発信したらいいですね。長崎県や県内の自治体と連携し、北海道や沖縄のように積極的なPRをしたらいい。私も長崎県出身の上場企業の経営者や財界関係者に協力を呼びかけますので、お手伝いすることがあれば遠慮なくおっしゃってください。

平戸市長 ありがとうございます。今日も貴重なお時間を割いていただき改めて感謝申し上げます。これからも平戸市をよろしく願います。

市民の声

Citizen's Voices

このコーナーは、広報ひらどの読者のみなさんからの声を伝えるページです。広報ひらどへの感想、平戸市への思い、身近な出来事など、たくさんの声をお寄せください。

今回の応募総数は、**12**通でした。



10月22、23日に開催された「平戸くんち城下秋まつり」に出かけました。各お店がとてもおいしそうなお料理を出していて、本当に目移りしました。姉妹・交流都市である北海道枝幸町から来た海産物をたくさん買いましたが、これまたどれもおいしかったです。こういう素敵なイベントがあると財布の紐をどんどんゆるませてしまいます。食のほかに、猿回しを見たりして、大変楽しませていただきました。これも、市や商工会議所の職員さん、そして各関係者のみなさんの努力のおかげだと思います。ありがとうございます。

(福ねこ 31歳女性)

平戸くんち城下秋まつりへ行ってきました。母、娘とその友人の女子ばかりで、おいしく楽しく過ごすことができました。来年も期待しています。

(めろんぱん 40歳女性)

図書館フェスティバルへ行きました。午前中は絵本作家さんと一緒にマイバック作り。午後からは図書館について講演会。そのほか、ロビーではくじ引きや図書廃棄本の無料配布もありました。講演会を聞いて、図書館は「市民が気軽に立ち寄れて、安心、安全、快適な場所」でなければ

ばいけいない、公民館の併設でもっと市民が集う場所であればならないと思いました。妊婦さんからお年寄りまで、また行きたくなるような魅力的な図書館で、全国から視察に来るような素敵な建物になれば、市民として自慢です。

(F・M 44歳女性)

11月号のプレゼントコーナーで取り上げられた「カフェくまざわ」は、知る人ぞ知る名店で、落ち着いた雰囲気の中、絶品のビーフカレーや、味わい深いコーヒーを楽しむことができるので、おすすめです。

(遊歩人 55歳男性)

先日、兵庫県の同級生に平戸の味とともに広報ひらど9・10月号を送りました。「平戸のこういう物を見たかったんだよ。すぐにでも帰りたくなったよ。あなたは平戸に住めていることが一番の幸福よ」とのこと。ごめんなさい。当たり前だと思っていた私。明日から平戸に感謝。

(アユタの母 67歳女性)

毎回、楽しいイベントやお祭りを開催していただきありがとうございます。今後も平戸の活躍を期待しています。

(H・T 男性)

10月22日に行われたお祭りでは、平戸のおいしい物をたくさんいただきました。これからも楽しいお祭りを願います。

(K・T 女性)

最近、孫が「マンマ」や「バイバイ」などを覚え、おしゃべりをするようになり、かわいいです。もう少し歩かな？元気にすくすく育ってね！

(T・T 女性)

もうすぐ2人目を出産の予定です。生まれたらお兄ちゃんと平戸ちゃんぽんを食べに行ったり、平戸をドライブするのが今から楽しみです。平戸最高！

(H・Y 26歳女性)

先日、4歳になる娘が、幼稚園のみんなと一緒に、火災予防啓発パレードに参加しました。商店街の人たちも大勢、沿道から手を振ってくださり、その声援に元気をいただき、子どもたちも消防署から交流広場まで歩きることができました。少々肌寒い日でしたが、地域のみなさんの温かさで娘の成長を感じた1日でした。

(あんこ・きなこ・だつこ 39歳女性)

※このほか、2通のお便りがありました。

PRESENTS

読者プレゼントコーナー

手打ち蕎麦 富喜

「平戸あごだし定食」のお食事券を15名様にプレゼント！

手打ち蕎麦富喜は、江戸時代、城下の台所を担った魚の棚町に創業して100年以上の歴史があります。ここ富喜の自慢の逸品は、「平戸あごだしラーメン」。平戸産の最高級焼あごを惜しげもなく使い、大鍋で約2時間じっくり炊き上げています。焼あごのうま味が凝縮された黄金色のスープは、一口飲むとあっさりとしています。口の中いっぱいに焼あごの香ばしさとコクが広がります。今回は、この「平戸あごだしラーメン」とあごだしを使った「いなりずし」「だし巻き玉子」「小鉢(ひじき)」をセットにした富喜の新定食「平戸あごだし定食」のお食事券を15名様にプレゼントします。寒い季節に心と体が温まる一杯を味わってみませんか。

◎プレゼント品についてのお問い合わせ

手打ち蕎麦 富喜

〒859-5117 平戸市魚の棚町332番地1

TEL 22-3303

ホームページアドレス <http://teuchisoba-fuki.jp/>

※プレゼントは、事業所などから提供をいただいています。

◎あて先

〒859-5192 平戸市岩の上町1508番地3

市長公室政策推進課秘書広報班

「市民の声&読者プレゼントコーナー」係

▼F A X 22-2419

▼E-Mail kouhou@city.hirado.lg.jp

※市ホームページからも投稿することができます。

※個人情報の取り扱いについては、「平戸市個人情報保護条例」に基づき適正に行います。なお、プレゼント発送のために個人情報を商品取り扱い事業者に提供いたしますのであらかじめご了承ください。

市民のみなさんからの
おたよりお待ちしております。

郵便、FAX、E-Mailで、氏名(ふりがな)、年齢、性別、住所、電話番号、ペンネームまたはイニシャルを記入の上、広報ひらどを読んだ感想や取り上げてほしい話題や記事、平戸市への思い、あなたの身近な出来事などを書いてご応募ください。

お便りをいただいた人の中から抽選でペア15名様に上記商品をプレゼント。応募締切は12月20日(火)当日消印有効です。当選の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

☆まちの話題!Photoコーナー

みなさんの投稿した写真やみなさんの情報で撮った話題を紹介！

薄香くんちでにぎわう

▶10月18日、梅崎神社の例大祭「薄香くんち」が行われました。薄香湾内を御神体が船で下り、お上りの武者行列には保育園児らも参加しました。



オランダ製自転車走破！

▶10月27日、長崎市の岸川信吾さんと松添和志さんが、オランダゆかりの地・長崎から平戸を自転車で行き、平戸オランダ商館にゴールしました。



みなさんの投稿や情報をお待ちしています！



いけだ たつり ゆうこ
池田 達法さん・優子さん(田平町山内免)
しずな まな
穂那ちゃん・愛那ちゃん(H22.12.12生)

- 呼び方「まな」
- 好きな遊び「いないいないばあ」
- 興味を持ち始めたこと「アンパンマン」
- 天使のしぐさ「満面の笑み」

「いつでも明るい笑顔でいてね」

愛那はいつも食欲旺盛で、お姉ちゃんのご飯まで食べようとします。また、自分の周りにあるものが気になって、ティッシュペーパーを箱から引っ張り出したり、バッグの中身を出してしまったりと、いたずら盛りの真っ最中です。でも、笑顔や寝顔を見ると癒されます。最近は「バイバイ」や「まんま」を言うようになって、自分の意志を伝えるようになりました。姉妹でおもちゃの取り合いをすることもありますが、大きくなっても仲の良い姉妹でいてね。



まえだ ひであき いくこ
前田 英昭さん・育子さん(田平町下寺免)
はやと あやか
隼都くん、彩花ちゃん(H17.4.28生)、
あおい
愛衣ちゃん(H19.12.21生)

- 呼び方「あおちゃん」「あおいちゃん」
- 好きな遊び「ぬり絵」「お絵かき」
- 興味を持ち始めたこと「ポケモン」「たまごっち」
- 天使のしぐさ「正座してテレビを見る姿」

個性豊かで元気な3人です

21日で4歳になる愛衣です。3人きょうだいの末っ子なので、最近、お姉ちゃんにあこがれているのか、お人形を赤ちゃんに見立ててお世話をしています。保育園では、大好きな担任の先生のまねをして遊んでいるようです。ちょっと泣き虫で、でも負けず嫌いの愛衣。おもしろいお兄ちゃんの隼都と、とっても優しいお姉ちゃんの彩花と3人で笑顔いっぱいの毎日を過ごしてね。お誕生日おめでとう！

募集しています

大募集！「まちのひとびと」へあなたも投稿しませんか？

「クラブ紹介」

スポーツ団体や芸能団体など、平戸のまちで活躍するさまざまな団体を紹介します。私たちの活動を紹介して欲しい、など掲載を希望する団体は下記までご連絡ください。

「なかよしおやこフォト」

発行月にお誕生日を迎える6歳まで(未就学児に限る)のお子さんとそのご両親、またはどちらか一方を募集します。掲載は、先着2組の家族まで。申込期限は、発行月前の15日です。掲載のご予約は、お気軽に、お早めに。
○応募方法 写真に名前・住所・電話番号・メッセージ、家族紹介文を添えて郵便、またはEメールにてご投稿ください。
※写真は返却しません。ご投稿いただいた作品は必ずしも掲載とは限りませんのでご了承ください。

あて先 〒859-5192 平戸市岩の上町1508番地3 市長公室秘書広報班 E-Mail kouhou@city.hirado.lg.jp

Town's
People

まちのひとびと

Club Introduction

クラブ紹介

「アンサンブル・パレストリーナ」 「大航海時代の平戸に思いをはせながら」



活動DATA

活動日/毎週木曜日19:30~21:00
活動会場/北部公民館
対象者/歌が好きな人はどなたでも
連絡先/世話人 森 公子(☎23-3131)
部員数/15人
※練習日・場所は変更になることがあります。
見学ご希望の人は必ず事前に連絡を。

アンサンブル・パレストリーナは2009年創設。「平戸オランダ年」という記念すべき年に立ち上げた宗教音楽をアカペラで歌う混声合唱団です。団名は、400年前の大航海時代のイタリアの作曲家パレストリーナから命名しました。私たちは当時流行した「ポリフォニー」という形式のミサ曲を中心に練習しています。「ポリフォニー」とは、4声がかノンのように追いかけてっこをしているような感じですが、同じ旋律を追いかけているのではなく、それぞれが主役となって微妙に違う旋律でハーモニーを生み出していきます。教会のように響くところで歌うととてもすてきな音色になります。今年3年目を迎え、最初はポリフォニーをつかむのに精一杯でしたが、少し理解できるようになりました。今後は他のジャンルの歌や楽器とのコラボも取り入れて幅の広い演奏ができればと思っています。団員募集中。



「田助小学校音楽部」 「明るく！楽しく！元気に！」



活動DATA

校長: 杉山邦博
顧問: 石橋京子、橋田 薫
部長: 山本優香
部員数: 17人

私たち田助小学校音楽部は、『明るく！元気に！』をモットーに現在2年生から6年生までの17人で活動しています。再結成2年目に入り、ハンドベルだけでなく、合唱にも力を入れています。はじめは難しかったハーモニーづくりも少しずつ慣れ、ソプラノとアルトの音の重なりを感じながら歌うことができるようになってきました。地域のイベントにも参加するなど発表の場が増えたことで、17人の心をひとつにして目標をもって練習ができるようになりました。これからもハンドベルの演奏や合唱で音楽の楽しさが伝わるように、美しいハーモニーをつくっていききたいと思います。

みんなで心を合わせ、明るく！楽しく！元気に！活動し、たくさんの人に喜んでいただけるよう頑張ります。





お知らせ

INFORMATION

収集日の確認を！ 年末年始の「ごみ・し尿収集」

〔市民課環境交通班
☎内線25228〕

『年末年始のごみ・し尿収集』

年末・年始の収集日は、下記一覧表のとおり行います。各地区で収集日が異なりますので、ご確認ください。

特に、平戸地区は、年始の収集開始日が行政区によって異なりますので、ご注意ください。

【お願い】

▼12月31日(土)から平成24年1月3日(火)までは、各地区のごみステーションにごみを出さないようお願いいたします。

▼粗大ごみの回収やし尿の汲取りは、決められた期日までに予約をお願いいたします。

▼「警告シール」が貼られ回収されずにいるごみ袋は、各ステーション利用者の責任で、12月12日(月)までに分別をお願いします。

▼ガスボンベは爆発する恐れがありますので、必ず穴を空けて袋に入れてください。電池を使用する機器などは、必ず電池を抜いてください。

◎年末・年始ごみ収集カレンダー

月日	曜日	平戸地区		生月・田平地区		北松北部 クリーンセンター (個人持込)	大島地区		大島村 クリーンセンター (個人持込)	
		燃えるごみ・生ごみ	資源ごみ等	燃えるごみ	資源ごみ等		燃えるごみ	不燃ごみ		
12月19日	月	平 常 収 集		平常収集		受入可 9:00～12:00 13:00～16:00	平常収集		受入可	
12月20日	火									
12月21日	水							平常収集		
12月22日	木						平常収集			
12月23日	祝・金									
12月24日	土	休　　み							休　　み	
12月25日	日									
12月26日	月	平 常 収 集		平常収集		受入可 9:00～12:00 13:00～16:00 ※30日は 午後3時30分まで	平常収集		受入可	
12月27日	火									
12月28日	水							平常収集		
12月29日	木						平常収集			
12月30日	金	全地区収集	休　　み	全地区収集	休　　み					
12/31(土)～1/3(火)までの間は、収集業務および施設の受け入れは、休みます。										
1月 4日	水	平常月・木地区	休　　み	全地区収集	休　　み	受入可 9:00～12:00 13:00～16:00	臨時収集	臨時収集	受入可	
1月 5日	木	平常火・金地区		平常収集			休　　み	休　　み		
1月 6日	金	平常収集								

※北松北部クリーンセンターの12月の休日受入は、23日(金)となっています。

◎一般廃棄物収集許可業者一覧(事業系を除く)

地区名	収集の種類	地 域 名	業 者 名	電話番号	予 約 締 切 日 な ど
平戸地区	粗 大 ご み	北 部 地 域	(有)平戸清掃	☎23-2210	12月9日(金)までに予約が必要です。 1月4日(水)から平常収集となります。
		中 部 地 域	中部清掃(有)平田	☎28-2114	
		南 部 地 域	(株)谷山清掃	☎27-0030	
		度 島 地 域	赤木衛生設備	☎25-2310	
	し 尿	北 部 地 域	(有)平戸衛生サービス	☎22-2497	12月12日(月)までに予約が必要です。 1月4日(水)から平常収集となります。
		中 部 地 域	下道清掃	☎22-2573	
		南 部 地 域	八木原清掃	☎28-1048	
		度 島 地 域	藤島清掃	☎27-0055	
	浄 化 槽 汚 泥		(有)鶴丸設備	☎23-3629	12月29日(木)～1月3日(火)まで休みます。 12月31日(土)～1月3日(火)まで休みます。
			(有)松尾設備	☎22-3351	
生月地区	し尿・ 浄化槽汚泥	生 月 地 域 山 田 地 域	(有)生月衛生社 生月清掃事業所	☎53-2282 ☎53-0214	12月12日(月)までに予約が必要です。 12月29日(木)～1月3日(火)まで休みます。
田平地区	し 尿 浄 化 槽 汚 泥		(有)新北松衛生社 (有)吉田環境衛生設備工業	☎0956-65-2766 ☎0956-76-2351	12月28日(水)までに電話連絡ください。 12月30日(金)～1月4日(水)まで休みます。 12月29日(木)午後～1月4日(水)まで休みます。
大島地区	し 尿 浄 化 槽 汚 泥	神浦・前平・西宇戸 的 山 ・大根坂	大島村クリーンセンター (有)鶴丸設備	☎55-2007 ☎23-3629	11月28日(月)～12月10日(土)まで予約を受け付けます。 12月12日(月)～12月22日(木)まで予約を受け付けます。 12月29日(木)～1月3日(火)まで休みます。

◎市役所各課へは代表番号(☎0950-22-4111)からお回しします

平戸の産業振興の新たな拠点へ 田平港シーサイドエリア 活性化施設 完成

平戸の玄関口といえる田平港から食、物産の魅力を発信。
【問い合わせ先】 商工物産課物産振興班 ☎内線2278



田平港シーサイドエリア活性化施設の概要

- 事業目的 市内の優れた地場産業の消費拡大と交流人口の増加による地域活性化
- 【構造】 鉄筋コンクリート造 2 階建
- 【面積】 約 1,200 ㎡
- 【機能】 農林水産物直売所・レストラン・観光案内・展望デッキ

「田平港シーサイドエリア活性化施設」が完成し、オープン日が決定

平戸瀬戸を一望できる田平港に整備を進めていた「田平港シーサイドエリア活性化施設」が11月末で完成しました。

この活性化施設には、平戸産品を販売する直売所(施設1階)と平戸の食材を使ったメニューを提供するレストラン(施設2階)のほか、観光インフォメーションも設置し、平戸の玄関口としての観光・物産の情報発信拠点となります。

さらに、この施設での販売にとどまらず、福岡を中心とした市外への流通販売の拠点としても位置づけされており、今後、平戸の農林水産物・加工品などの地場産品の販路拡大につながるものと期待しています。

施設のオープンは、来年2月25日(土)に決定し、現在、準備を進めており、オープン記念として、「シーサイドウォーク大会」を開催するよう計画しています。

そのほか、田平町民センターで開催予定の「つばき物産展」や田平地区活性化協議会による日の浦地区商店街を中心としたにぎわいづくりの取り組みなど、シーサイドエリアを中心に田平地区が一体となって市民のみなさんと観光客をお迎えする予定です。ぜひ、ご来場ください。

一緒に魅力ある直売所を目指しませんか

田平港シーサイドエリア活性化施設利用組合は、現在組合員も100人を超え、組合役員を中心に施設の運営やオープンに向けた準備を進めています。

魅力的な直売所にするためには、より多くの平戸産品を揃える必要があり、引き続き組合員を募集しています。みなさんのご加入をお待ちしています。

- 申込期限 12月28日(水)
- 入会金 1万円
- 入会申込 商工物産課、各支所産業建設課・各出張所

田平港シーサイドエリア活性化施設
の愛称が「平戸瀬戸市場」に決定

施設の愛称について、市内外から107点の応募があり、眺望や地域のイメージなどから施設の愛称を「平戸瀬戸市場」に決定しました。

また、施設のロゴも施設の愛称や施設から見える素晴らしいロケーション、平戸の鯨文化などから鯨の尾をイメージしたデザインに決定。

これからオープンに向け、この施設の魅力を積極的に発信していきます。



問 稅務課住民稅班
☎ 內線 2547

☎ 内線 2547
税務課住民税班

問 市民課生活環境班

☎ 内線 2529

☎ 内線 2593

☎ 内線 2593

問 消防本部総務課

☎ 内線 2145

問 水道局給水班

☎ 内線 2811

☎ 内線 2811

申・問 觀光課觀光振興班

☎ 内線 2273

☎ 内線 2273

・問 福祉課子育て支援班

☎ 内線 2573

「フーバディーズパーフェクトプロダクツ」

申請期間	12月5日(月)～20日(火)
対 象 者	市内に住所を有する、平成24年1月1日～3月31日に赤ちゃんを出産予定の保護者
貸 出 日	平成24年1月4日(水)以降
貸出台数	ベッド10台、バス10台、スケール(体重計)20台

広報ひらど 平成23年12月号 **28**

